



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月4日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 キング

コード番号 8118 URL <http://www.king-group.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 山田 幸雄

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員管理部門管掌 (氏名) 石井 修二

TEL 03-5434-7282

四半期報告書提出予定日 平成25年2月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	9,745	0.0	781	19.9	985	16.8	588	27.7
24年3月期第3四半期	9,743	△2.0	652	5.5	844	10.5	460	86.8

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 587百万円 (49.2%) 24年3月期第3四半期 394百万円 (32.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	28.33	—
24年3月期第3四半期	20.96	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%		
25年3月期第3四半期	21,184		18,021		85.1	
24年3月期	22,299		18,313		82.1	

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 18,021百万円 24年3月期 18,313百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	11.00	11.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	11.00	11.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,920	1.9	880	5.2	1,160	4.9	610	0.8	29.81

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料P2「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期3Q	24,771,561 株	24年3月期	24,771,561 株
25年3月期3Q	5,295,358 株	24年3月期	3,242,839 株
25年3月期3Q	20,756,058 株	24年3月期3Q	21,964,258 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P2「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	2
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	2
3. 四半期連結財務諸表	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	5
(3) 継続企業の前提に関する注記	6
(4) セグメント情報等	6
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	6
(6) 重要な後発事象	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、欧州債務問題や新興国の成長鈍化を要因とした世界経済の減速などの影響により、国内景気も低調裡に推移いたしました。

ファッション業界におきましても、景気の先行きが不透明な中、個人消費は盛り上がりには欠け、併せて天候不順も重なり、引き続き厳しい経営環境が続きました。

このような環境のもと当社グループは、「強いものづくり」という揺るがない基軸のもと、独自性・複雑性を徹底追求し、高品質・高品位の商品づくりに引き続き注力いたしました。

その結果、売上高は97億45百万円（前年同期比0.0%増加）、経常利益は9億85百万円（前年同期比16.8%増加）となり、四半期純利益は5億88百万円（前年同期比27.7%増加）となりました。

事業セグメント別の状況は以下のとおりであります。

(アパレル事業)

アパレル事業におきましては、消費者からの更なる安心・信頼・満足を勝ち得るべく、高品質・高感度の強い商品を提供し続けるとともに、その商品にふさわしいショップづくりと質の高い店頭基軸のビジネススタイル確立に注力いたしました。具体的にはフランチャイズショップ戦略・複合ブランドショップの開発を一層推進するとともに、店頭運営力の向上に向けて「店頭活性化マニュアル」の徹底活用、店舗内装やVMDを中心としたショップ演出力の感度アップ等により、商品とお客様が会える店頭をよりご満足いただけるよう注力いたしました。その結果、売上高は87億49百万円（前年同期比1.6%増加）、営業利益は7億87百万円（前年同期比20.2%増加）となりました。

(テキスタイル事業)

テキスタイル事業におきましては、「プリントのプロ集団」である企画提案型テキスタイルコンバーターとして、意匠力・提案力・対応力を強化するとともに、「ヴィンテージコレクション」（1800年から1980年までのヨーロッパ生地見本）を有効活用することにより創造性・独自性をアピールし、高感度・高品質商品の提案を推進いたしました。その結果、売上高は9億95百万円（前年同期比11.9%減少）、営業利益は35百万円（前年同期比21.0%減少）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は211億84百万円となり、前連結会計年度末比11億14百万円の減少となりました。

流動資産は98億78百万円となり、前連結会計年度末比12億65百万円減少いたしました。これは主に、現金及び預金の減少によるものであります。また、固定資産は113億6百万円となり、前連結会計年度末比1億50百万円増加いたしました。これは主に、その他の投資の増加によるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は31億63百万円となり、前連結会計年度末比8億22百万円の減少となりました。

流動負債は23億93百万円となり、前連結会計年度末比7億39百万円減少いたしました。これは主に、支払手形及び買掛金、未払法人税等の減少及び賞与引当金の減少等によるものであります。また、固定負債は7億70百万円となり、前連結会計年度末比83百万円減少いたしました。これは主に、長期借入金の返済期限が1年以内となったことによる流動負債への振替によるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は180億21百万円となり、前連結会計年度末比2億92百万円減少いたしました。これは主に利益剰余金の増加及び自己株式の増加によるものであります。

なお、自己資本比率は、85.1%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の通期の連結業績予想は概ね予想どおりに推移しており、現時点においては、平成24年5月9日に発表いたしました業績予想からの変更はありません。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後のさまざまな要因により予想数値と異なる場合があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ18百万円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,837	5,505
受取手形及び売掛金	1,786	1,428
商品	2,129	2,488
原材料及び貯蔵品	49	49
繰延税金資産	182	75
その他	225	385
貸倒引当金	△66	△55
流動資産合計	11,144	9,878
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,212	2,202
土地	3,558	3,558
その他（純額）	360	333
有形固定資産合計	6,131	6,094
無形固定資産	43	64
投資その他の資産		
投資有価証券	1,001	902
長期貸付金	16	13
繰延税金資産	160	148
投資不動産（純額）	2,486	2,454
差入保証金	771	782
その他	583	870
貸倒引当金	△39	△25
投資その他の資産合計	4,980	5,147
固定資産合計	11,155	11,306
資産合計	22,299	21,184

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,369	1,210
短期借入金	380	380
1年内返済予定の長期借入金	—	50
未払法人税等	334	116
賞与引当金	304	93
役員賞与引当金	22	18
返品調整引当金	5	2
その他	716	523
流動負債合計	3,133	2,393
固定負債		
長期借入金	50	—
退職給付引当金	295	267
資産除去債務	100	103
長期未払金	177	177
その他	229	221
固定負債合計	853	770
負債合計	3,986	3,163
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,346	2,346
資本剰余金	8,127	8,127
利益剰余金	8,642	8,994
自己株式	△863	△1,507
株主資本合計	18,251	17,959
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	61	61
その他の包括利益累計額合計	61	61
純資産合計	18,313	18,021
負債純資産合計	22,299	21,184

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	9,743	9,745
売上原価	4,355	4,200
売上総利益	5,387	5,544
販売費及び一般管理費	4,735	4,762
営業利益	652	781
営業外収益		
受取利息	15	14
受取配当金	24	25
受取地代家賃	208	281
貸倒引当金戻入額	13	12
その他	55	41
営業外収益合計	316	375
営業外費用		
支払利息	3	3
賃貸費用	119	118
自己株式取得費用	0	46
その他	2	3
営業外費用合計	125	171
経常利益	844	985
特別利益		
固定資産売却益	3	2
特別利益合計	3	2
特別損失		
固定資産除却損	6	17
投資有価証券売却損	3	—
特別損失合計	10	17
税金等調整前四半期純利益	836	970
法人税、住民税及び事業税	218	263
法人税等調整額	157	118
法人税等合計	376	381
少数株主損益調整前四半期純利益	460	588
四半期純利益	460	588
少数株主損益調整前四半期純利益	460	588
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△66	△0
その他の包括利益合計	△66	△0
四半期包括利益	394	587
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	394	587
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

当第3四半期連結会計期間(自 平成24年10月1日 至 平成24年12月31日)

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第3四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

	報告セグメント			調整額 (注)1 (百万円)	四半期連結 財務諸表計上額 (注)2 (百万円)
	アパレル 事業 (百万円)	テキスタイル 事業 (百万円)	計 (百万円)		
売上高					
(1)外部顧客に対する売上高	8,613	1,130	9,743	—	9,743
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	30	57	88	△88	—
計	8,644	1,187	9,831	△88	9,743
セグメント利益	654	44	699	△47	652

(注) 1. セグメント利益の調整額 △47百万円には、セグメント間取引消去 △1百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用 △45百万円が含まれております。

尚、全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

	報告セグメント			調整額 (注)1 (百万円)	四半期連結 財務諸表計上額 (注)2 (百万円)
	アパレル 事業 (百万円)	テキスタイル 事業 (百万円)	計 (百万円)		
売上高					
(1)外部顧客に対する売上高	8,749	995	9,745	—	9,745
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	33	44	77	△77	—
計	8,782	1,039	9,822	△77	9,745
セグメント利益	787	35	822	△40	781

(注) 1. セグメント利益の調整額 △40百万円には、セグメント間取引消去 △0百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用 △40百万円が含まれております。

尚、全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成24年7月31日及び平成24年12月4日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条第1項及び当社定款の規定に基づき、自己株式を取得することを決議し、自己株式2,052,480株を取得いたしました。この結果、当第3四半期連結累計期間において自己株式が643百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が1,507百万円となっております。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。